



建交労

2017年11月6日 No.10

全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2017年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

安倍9条改憲 NO!4万人が国会を包囲! 市民と4野党の共同、全国で行動広がる



建交労中央女性部のメンバー・国会前

11月3日（金・祝）、安倍政権による「9条改憲」に反対する行動が全国各地でとりくまれ、国会周辺の包囲行動には4万人の人々が集いました。4野党（共産、立憲民主、社民、民進）の党首や著名人が思いをスピーチし、「国会内外で力を合わせて、改憲発議を阻止しよう」と訴えました。建交労

からは中央女性部メンバー、都本部や首都圏組織から大勢が参加し、事前の駅頭宣伝においても、全国統一3千万人署名の協力と行動参加を呼びかけました。

また、大阪、京都、高知、福岡などでも、総がかり実行委員会や市民共同アクションの呼びかけで憲法集会などが開催されました。

建交労の全国統一署名集約のとりくみは、全国で1,067筆(11月6日現在)です。また、各地のとりくみの報告もほんのわずかにとどまっています。

安倍政権や改憲勢力は、総選挙で多数議席を占めたことを背景に『改憲が承認を得た』ような振る舞いを取っています。国民の意思は改憲NO！戦争する国づくり反対であること示すためにも、統一署名を強化しましょう。



新宿駅西口で宣伝行動・11月3日

*** 署名宣伝行動や署名の到達について、各組織は中央本部（別紙）に報告して下さい**

2017年10月30日(月)

建交労中国地方協議会

組合の未来を担う地協青年部を結成しました。

第二回「中国地協フェスタ」に25人が参加。

秋の組合員拡大月間は2ヶ月目に入りました。

建交労中国地方協議会(議長・山室まこと)は10月21日(土)～22日(日)の2日間、広島県庄原市で「第2回中国地協フェスタ」を開催、島根、広島両県本部と山陰支部から20歳代から90歳までの25人が参加、中央青年部から菅野書記長が参加しました。

開会式で山室まこと議長は、「さらに組合の横のつながりを強め、統一した運動を発展させよう」などと奮闘を呼びかけました。

島根県本部大田支部書記長で介護現場でケアマネジャーに携わっている清水信江さんが「国連第8回高齢化に関するワーキンググループに参加して」の特別報告しました。

参加者はそれぞれ身近な問題として真剣に聴き入っていました。学習交流では①ダンプ部会、②労災職業病部会、③高齢者・事業団部会、④トラック部会(山陰支部、福山地域支部)

からの報告と広島支部の廣木昭代さんの「働くこと、平和について」の話を聴きました。福山地域支部SEE物流の佐藤正幸委員長は、自身の裁判闘争の経過を述べるとともに、その後起きた西条営業所での建交労組合員への「不当配転」取り消しの闘いが勝利し職場復帰を果たしたことを当事者からの「手紙」を紹介しながら報告、参加者一同拍手で闘争勝利を確認しました。

グループ討議もお互い初対面の人がほとんどにも関わらず、議論が大いに盛り上がりあっという間に終了、その後青年組合員を中心に「地協青年部」結成に向けての会議を開催しました。夕食交流会も盛り上がりましたが、建交労中国地協青年部結成(武田喜成部長・広島)が提案され参加者の拍手で確認されました。

2日目はあいにくの雨でしたが、三次市内の観光農園で、りんごパイ作りや、りんごの缶詰づくりなどで楽しく交流し最後に閉会式を行い解散しました。参加者からは「介護問題は身近な問題です」「有意義な時間を過ごしました」「来年は山口県内で開催しましょう」などの感想が寄せられました。



ニュース・取り組みをお知らせください。

拡大月間の取り組みについて、各県本部(支部)の状況をお知らせください。簡単なメモでも、「ニュース」でもよいので、送ってください。(次回は11月13日発行)

中国地協として、「拡大推進ニュース」を隔週の月曜日に発行するので、事務局の広島県本部にfaxかメールで送ってください。よろしく願い致します。(建交労広島県本部)

「改憲阻止総がかり行動・全国統一3千万人署名」とりくみ報告用紙

報告者 _____

県本部

支部・分会

201 年 月 日

1 今回取り組んだ組織(数を記入して下さい) _____支部____分会

合計 _____支部____分会 (ダブらないようにして下さい)

2 今回報告する署名集約数 _____ 筆

3 署名集約状況(合計総数) _____ 筆

4 宣伝行動のとりくみなど _____カ所

5 宣伝行動など取り組みの報告

6 今後の予定など

* 報告は随時受け付けています。各県本部からの積極的な報告を求めます。(支部・分会は署名集約数がダブらないよう県本部への報告もお願いします)
* 取り組みの記事や写真(宣伝風景)、奮闘している支部・分会や各組合員の声や決意などもお寄せください。推進ニュースや雑誌版などで適宜ご紹介します。

Fax 03-3360-8389

メール hirose@kenkourou.or.jp